

今再び、「エレガント英語の源泉」について考える

・・・エレガント英語とは「美しい英語」を意味する概念である

生井利幸

当・英会話道場イングリッシュヒルズでは、実に、すべての受講生が、最も堅実で確実な方法で、即ち、真の意味で、しっかりと地に足の着いた方法で「エレガント英語を学習・習得したい」という学習の姿勢を堅持・維持しながら、わたくし生井利幸のレッスンを受講しています。

この、「エレガント英語を学習・習得したい」という様相は、表現を換えると、「美しい英語を学習・習得したい」ということと同じ様相であると捉えることができます。

では、「美しい英語を学習・習得する」ということは、具体的には、どのような学習を指すのでしょうか。

「美しい英語を学習・習得する」という行為について、本質的な立ち位置から述べるならば、「英語」という言語について学ぶ以前の問題として、「学習者本人において、一人の人間として美しく生きたい」という基本精神を持つことが必要となります。これはつまり、損得勘定で、頭の中に英語の知識を詰め込むのではなく、それ以前の問題として、学習者自身が「美しい人間になる必要がある」ということを意味することです。

本稿では、わたくし生井利幸と共に、今再び、人間存在における根本的問題、即ち、「一人の人間として、美しく生きる」という問題について考えてみましょう。

日本、あるいは、海外にかかわらず、如何なる人間においても、かりに過去において「忘れ難い、極めて美しい時間」を持ったとしても、その美しい経験の後、歳月が流れ、迎える日々において自分自身が直面している現実・状況が変化すると、人間は、「過去に経験した美しい時間」を忘れ去ることがあります。

「美しい時間を持って、後に、その美しい経験について忘れてしまう」、・・・ここに、多くの人間が、根本の根本から美しい存在者になることができない理由が存在します。

私たち人間が「美しく生きる」について考えるとき、以下の事項が重要ポイントとなります。

◆重要ポイント

< 1 >

迎える一日一日を美しく生きるには、常日頃から、「感謝する心」を堅持・維持する必要性がある。

< 2 >

過去において「美しい時間」を経験しても、その経験に対して「感謝する心」を失ってしまったら、その美しい経験に対して無感覚・無感情となり、せつかくの経験が台無しとなる。

< 3 >

「日々の生活において、綺麗な心で生きる・曇りのない心で生きる」という行為は、直接、「美しく生きる」に影響する。

< 4 >

最も大切な時間的空間は、過去でも、未来でもなく、「今」である。迎える一日一日において、「本日の今現在の一秒一秒を美しく生きる」ことが、「自分の人生を美しく生きる」上での基本的生き方となる。

< 5 >

本日の今現在の「生の価値」(the value of living)を決めるのは、他人ではなく、常に、自分自身である。即ち、生の価値を向上させるも低下させるも、そのすべては「自分の心のステージ次第」である。

< 6 >

人間は、恵まれすぎると、感覚が麻痺し、その恵みに対して感謝しなくなる。例えば、どのように恵まれた学習条件・環境が与えられても、自己中心的なエゴから、それを「当たり前」として捉えてしまうと、その恵み（恩恵）に対して無感覚・鈍感となってしまう。

◆総括

毎日の一秒一秒を美しく生きることにより、少しずつ、自分自身が「美しい存在者」になることができます。美しい存在者として「美しい英語」を学習し、それを地に足の着いた方法で自分の中に吸収する日々を送ることにより、美しい英語を「自分の言語」とするための道のりを歩むことができます。

美しい英語を、外国語としてではなく「自分の言語」とする道のりは、実に、長い年月がかかります。しかし、それを実現する日本人英語スピーカーは極めて少ない、という“周知の事実”を考えると、あなた自身が一生涯をかけてこのミッションに取り組む「意味」、及び、「甲斐」があるに違いありません。